

ディプロマ・ポリシー (DP)	
1. プロフェッショナリズム	DP① 患者とその関係者、医療チームのメンバーを尊重し、薬剤師として医療を担うための責任感と倫理観をもって行動できる。
	DP② 自らの能力を評価・検証し、生涯学習により常に自己研鑽を図ることができる。
	DP③ 後進指導の重要性を理解し、次世代を担う人材を育成する意欲を示すことができる。
2. コミュニケーション能力	DP④ 他者との間で適切に情報の収集・伝達を行うとともに、互いの立場を尊重し、理解し合える人間関係を構築できる。
3. 薬学関連領域の知識・技能・態度	DP⑤ 普遍的な教養を身に付けるとともに、薬学の専門的知識・技能・態度を修得する。
4. 薬物療法における実践力	DP⑥ 患者の病態を理解し、科学的な根拠に基づき、患者個人を尊重した適切で効果的な薬物療法を選択・計画し、安全かつ適確に遂行できる。
5. 問題発見・解決力	DP⑦ 科学的探究心を備え、基礎、衛生、医療薬学に関わる諸問題を発見し、必要な情報を収集・評価して論理的思考をもとに解決策を提示できる。
6. 地域の保健・医療における貢献力	DP⑧ 医療福祉連携の重要性を理解し、プライマリケアやセルフメディケーションの支援、在宅医療への参画等を通じ、地域における人々の疾病予防、健康・自立に貢献できる。

カリキュラム・マップ

◎：DP達成に向けて、特に重要な事項

○：DP達成に向けて、重要な事項

(必修科目)

区分	授 業 科 目	学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)							
		DP①	DP②	DP③	DP④	DP⑤	DP⑥	DP⑦	DP⑧
教 養 科 目	外国語科目	英語Ⅰ				○	◎		
		英語Ⅱ				○	◎		
		英語Ⅲ				○	◎		
		英語Ⅳ				○	◎		
		英語Ⅴ				○	◎		
		英語Ⅵ				○	◎		
	自然科学系科目	微分積分				◎			
		情報リテラシ				◎		○	
		物理学				◎	○		
		統計学				◎			
		数学演習				◎			
		物理学演習				◎	○		
		化学演習				◎	○		
		生物学演習				◎	○		
	体育科目	スポーツⅠ		○		○			
		スポーツⅡ		○		○			
	入薬科目	薬学に親しむ		○		◎			
	薬学専攻科目	フレッシュヤーズセミナー	◎	◎		○		○	○
	合科科目	くすりと科学Ⅰ				◎	○		
	合科科目	くすりと科学Ⅱ				◎	○		
専 門 科 目	基礎薬学科目	化学平衡				◎	○		
		電磁波・放射線と物質の相互作用				◎	○		
		物質のエネルギーと物理平衡				◎	○		
		物質の変化と反応速度				◎	○		
		分子の構造				◎	○		
		有機化学反応				◎	○		
		官能基の性質				◎	○		
		機器を用いる解析法				◎	○		
		化学物質の構造決定				◎	○		
		医薬品の定性定量分析				◎	○		
		生体分子のコアとパーツ				◎	○		
		薬用植物と生薬				◎	○		
		生薬と天然由来活性物質・漢方薬				◎	○		
	基礎薬学科目	細胞の構造と機能				◎	○		

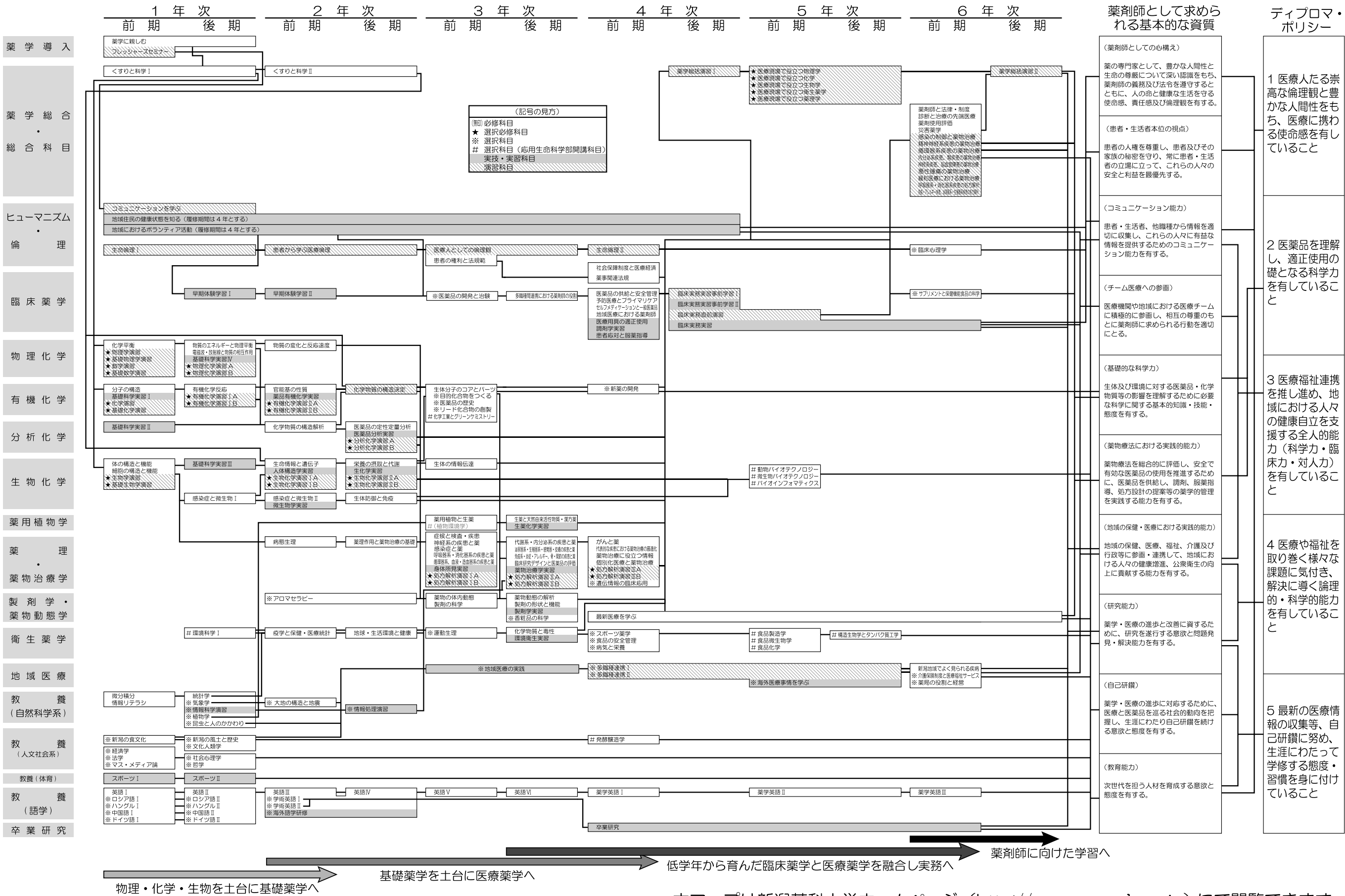
区分	授 業 科 目	学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)							
		DP①	DP②	DP③	DP④	DP⑤	DP⑥	DP⑦	DP⑧
専 門 科 目	基礎薬学科目	体の構造と機能				◎	○		
		感染症と微生物Ⅰ				◎	○		
		感染症と微生物Ⅱ				◎	○		
		生命情報と遺伝子				◎	○		
		生体防御と免疫				◎	○		
		栄養の摂取と代謝				◎	○		
		生体の情報伝達				◎	○		
		物理化学演習				◎	○		
		有機化学演習Ⅰ				◎	○		
		有機化学演習Ⅱ				◎	○		
		生物化学演習Ⅰ				◎	○		
		生物化学演習Ⅱ				◎	○		
		分析化学演習				◎	○		
		基礎科学実習Ⅰ				◎	○		
		基礎科学実習Ⅱ				◎	○		
		基礎科学実習Ⅲ				◎	○		
		基礎科学実習Ⅳ				◎	○		
	衛生薬学科目	薬品有機化学実習				◎	○		
		人体構造学実習				◎	○		
		微生物学実習				◎	○		
		医薬品分析実習				◎	○		
		生化学実習				◎	○		
		生薬化学実習				◎	○		
		疫学と保健・医療統計				◎	○		
		生活環境と健康				◎	○		
	医療薬学科目	化学物質と毒性				◎	○		
		災害薬学	○	○		○	○	○	○
		環境衛生実習				◎	○		
		病態生理				○	◎		
	医療薬学科目	薬理作用と薬物治療の基礎				◎	◎		
		症候と検査・疾患				◎	○		
		薬物動態と薬物間相互作用				◎	○		
		循環器系、血液・造血器系の疾患と薬				○	◎		
	医療薬学科目	神経系の疾患と薬				○	◎		

区分	授 業 科 目	学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)							
		DP	DP	DP	DP	DP	DP	DP	DP
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
専 門 科 学 科 目	感染症と薬					○	◎		
	呼吸器系・消化器系の疾患と薬					○	◎		
	製剤の科学					◎	○		
	製剤の形状と機能					○	◎		
	薬物動態パラメータと速度論解析					○	◎		
	臨床研究デザインと生物統計					◎	○		
	腎泌尿生殖器系・感覚器・皮膚の疾患と薬					○	◎		
	免疫系・炎症・アレルギー疾患と薬					○	◎		
	代謝系・内分泌系・骨・関節の疾患と薬					○	◎		
	がんと薬					○	◎		
	代表的な疾患における薬物治療の最適化					○	◎		
	薬物治療に役立つ情報					○	◎	○	
	最新医療を学ぶ		○			○	◎		
	患者の権利と法規範	◎				○	○		
	医療人マインドと倫理観の醸成	◎	○		○		○		
	薬害・医療事故被害者から学ぶ	◎	○		○		○		
	薬剤師が備える倫理観	◎	○		○		○	○	○
	多職種間連携における薬剤師の役割	○			○		○	○	○
	社会保障制度と医療経済	○				◎	○		
	薬事関連法規	○				◎	○		
	地域医療における薬剤師	○			◎		○	○	
	セルフメディケーションと一般医薬品	○				◎	○		○
	個別化医療と薬物治療モニタリング					○	◎		
	新潟地域でよく見られる疾病					○			○
	感染の制御と薬物治療	○				○	◎	○	
	循環器系疾患の薬物治療	○				○	◎	○	
	精神・神経系疾患の薬物治療	○				○	◎	○	
	呼吸器系疾患の薬物治療	○				○	◎	○	
	消化器系疾患・腎疾患の薬物治療	○				○	◎	○	
	内分泌系疾患の薬物治療	○				○	◎	○	
	免疫・アレルギー疾患、泌尿器系・生殖器系疾患の薬物治療	○				○	◎	○	
	悪性腫瘍の薬物治療	○				○	◎	○	
	緩和医療における薬物治療	○				○	◎	○	
	先端医療					○	◎	○	
	薬剤師と法律・制度	○				◎	○		
	薬剤使用評価	○				○	◎		○
	社会貢献活動Ⅰ	○			◎				○
	社会貢献活動Ⅱ	○		○	○			○	◎
	コミュニケーションを学ぶ	○			◎				○
	早期体験学習Ⅰ	◎	○		○	○			○
	早期体験学習Ⅱ	◎	○		○	○			○
	薬理・病態・薬物治療演習Ⅰ					○	◎		
	薬理・病態・薬物治療演習Ⅱ					○	◎		
	副作用学演習					○	◎		
	身体所見実習					○	◎		
	製剤学実習					○	◎		
	薬理・薬物動態実習					○	◎		
	医薬品医療用具の供給と適正使用	○				○	◎		
	患者応対と服薬指導	○			◎	○	◎		
	調剤学実習	○				○	◎		
	臨床実務実習事前学習Ⅰ	○	○		○	○	○	○	○
	臨床実務実習事前学習Ⅱ	○	○		○	○	○	○	○
	臨床実務直前演習	○	○		○	○	○	○	○
	臨床実務実習	○	○	○	○	○	○	○	○
	医療現場で役立つ物理学					◎	○	○	
	医療現場で役立つ化学					◎	○	○	
	医療現場で役立つ生物学					◎	○	○	
	医療現場で役立つ衛生薬学					◎	○	○	
	医療現場で役立つ薬理学					○	◎	○	
	医療現場で役立つ薬剤学					◎	○		
総合科目	卒業研究		○	○	○	○		◎	
	薬学総括演習Ⅰ		○			◎	○	○	
	薬学総括演習Ⅱ		○			◎	○	○	

(選択科目)

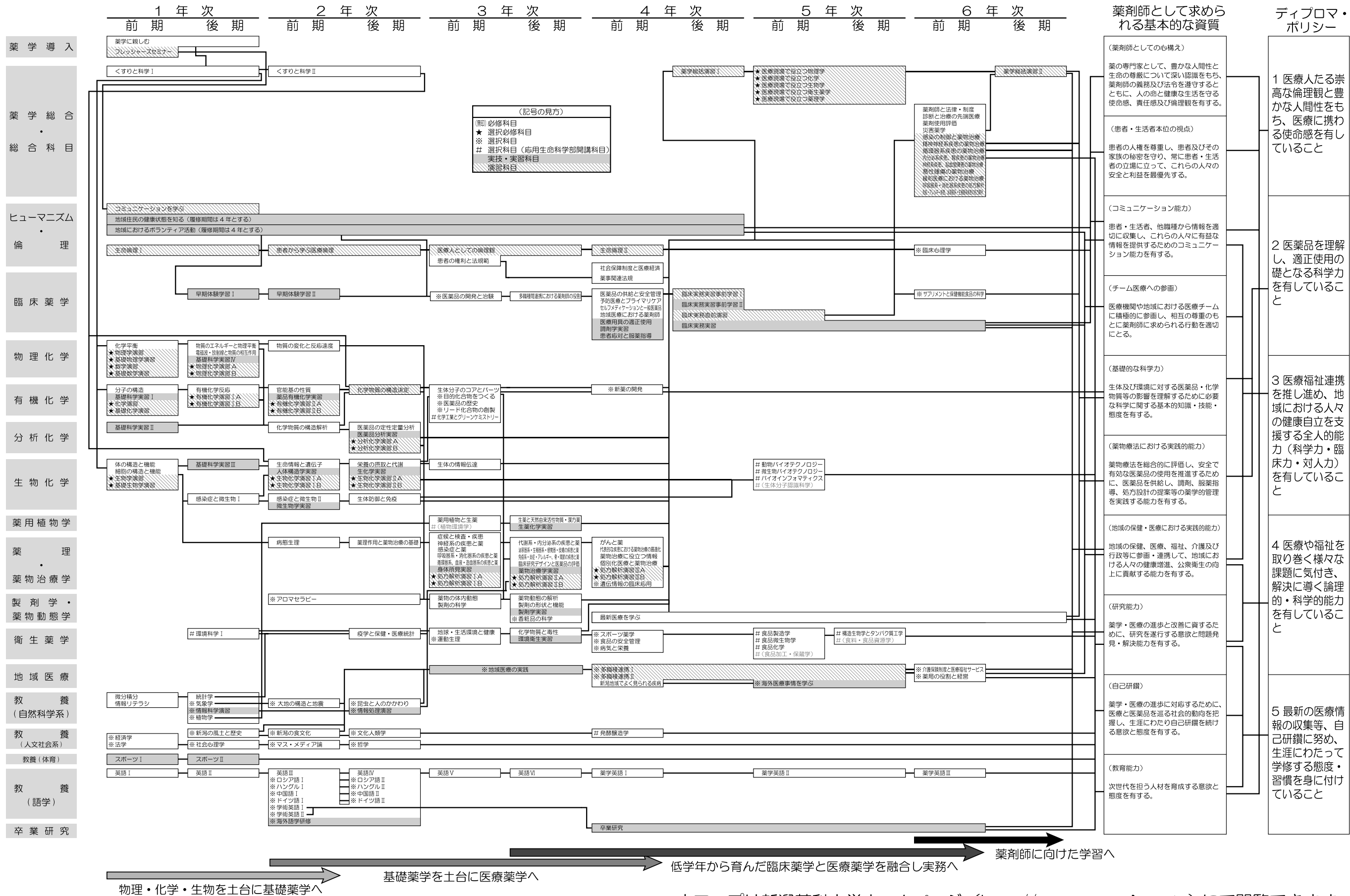
区分	授 業 科 目	学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)							
		DP	DP	DP	DP	DP	DP	DP	DP
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
教 養 科 目	外国語科目	ドイツ語				○	◎		
		中国語				○	◎		
		ロシア語				○	◎		
		ロシア語				○	◎		
		学術英語				○	◎		○
		海外語学研修				○	◎		○
		薬学英語Ⅰ					◎		○
		薬学英語Ⅱ				○	◎		
		薬学英語Ⅲ					◎		○
	人文社会科学科目	経済学					◎		
		法学					◎		
		社会心理学				○	◎		
		マス・メディア論					◎		
		哲学	○				◎		
		新潟の風土と歴史					◎		
		新潟の食文化					◎		
		文化人類学					◎		
	自然科学系科目	植物学					◎		
		気象学					◎		
		昆虫と人のかかわり					◎		
		大地の構造と地震					◎		
		データサイエンスⅠ					◎		
		データサイエンスⅡ					◎		○
		大学商品開発社会実践演習Ⅰ	○			○	○		○
		大学商品開発社会実践演習Ⅱ	○			○	○		○
	基礎薬学系科目	リード化合物の創製					◎		
		目的化合物をつくる					◎		
		医薬品の歴史					◎		
		運動生理					◎		
		香粧品の科学					◎	○	
		新薬の開発					◎		
		食品の安全管理					◎		
	専門医療薬学系科目	医薬品の開発と治験					◎	○	
		病気と栄養					○	◎	
		スポーツ薬学					○	◎	
		遺伝情報の臨床応用					◎	○	
		予防医療とプライマリケア					◎	○	○
		科学技術の進歩と医療倫理	◎				○	○	
		サプリメントと保健機能食品の科学					◎	○	○
		介護保険制度と医療福祉サービス	○				◎		○
		臨床心理学				○	◎		
		薬局の役割と経営	○				◎		○
専 門 科 目	応用生命科学部開講科目	アロマセラピー					◎	○	
		地域医療の実践	○			○	○	◎	○
		多職種連携Ⅰ	○	○		○	○	◎	○
		多職種連携Ⅱ	○	○		○	○	◎	○
		海外医療事情を学ぶ		○		○		○	
		#環境科学Ⅰ					◎		
		#化学工業とグリーンケミストリー					◎		
		#発酵醸造学					◎		
		#食品製造学					◎		
		#動物バイオテクノロジー					◎		
		#食品微生物学					◎		
		#微生物バイオテクノロジー					◎		
		#食品化学					◎		
		#バイオインフォマティクス					◎		
		#構造生物学とタンパク質工学					◎		

カリキュラムマップ (2017年度から2020年度までの1年次入学生及び2年次に編入学等を行った学生に適用)

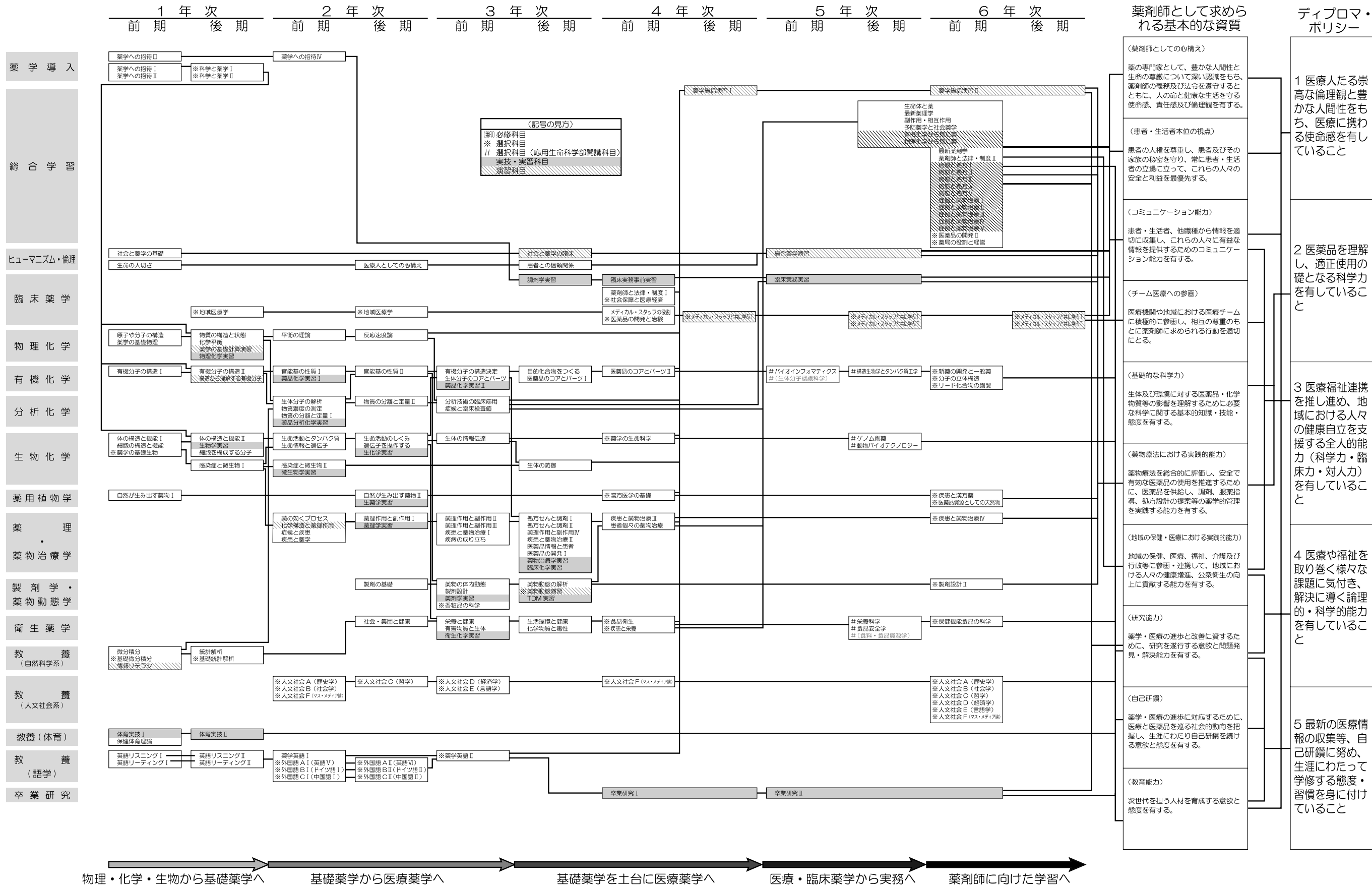


本マップは新潟薬科大学ホームページ (<http://www.nupals.ac.jp>) にて閲覧できます

カリキュラムマップ (2015年度及び2016年度の1年次入学生に適用)



カリキュラムマップ (2011年度から2014年度までの1年次入学生及び2012年度から2015年度に2年次に編入学等を行った学生に適用)



注：副科目名称は省略 (教養系を除く)

本マップは新潟薬科大学ホームページ (<http://www.nupals.ac.jp>) にて閲覧できます

カリキュラムツリー (令和3年度以降の1年次入学生、及び令和4年度以降の2年次編入学等を行った学生に適用)

